

インターンシップ 10月度 (イタセンネット) 活動報告

日時：10月20日（日）9:00～11:30（城北ワンド現地直行）

参加：インターン生 吉川 慶一（大阪産業大学 デザイン工学部 環境理工学科）
玉井 秀実（大阪府立大学 生命環境科学部 緑地環境科学科）
泉 美佑（大阪府立大学 生命環境科学部 緑地環境科学科）
中畠 俊介（大阪府立大学 生命環境科学部 緑地環境科学科）

※案内は岡本晋弥（イタセンネット理事、協会会員）

天候：晴れ

活動：城北ワンドのイタセンネットは、4～11月に月2回定例保全活動があり、今年度第14回目。いつも、9時から全体ミーティング後に地引網を引きますが、この日は合計6回網入れをしました。かかった魚は全てサイズなどを計測、一段落ついた頃に捕れた魚の説明を行います。今回は、インターンシップ生には外来生物の駆除、魚の捕獲作業と仕分け作業、魚の説明をお手伝い頂きました。



ミーティングで自己紹介している様子
(中央3人がインターン生;左から中畠さん、玉井さん、泉さん)



地引き網で捕れたモクズガニを観察している様子



地吹編みを引くインターン生4人;左端は吉川さん



捕れた魚を集めている様子



吉川さんによる魚の説明の様子

今回確認されたイタセンパラ



吉川さんの感想：先週に比べ水温が低く感じました。なので魚類も少ないかと思いましたが、想像していた以上に色々な魚類が捕れ、数も中々捕れていました。最後に各魚類の説明を行い、前回説明した時より簡潔にできたと思います。これから寒くなってくるので捕れる魚類も減ってくるとは思いますが、次も頑張りたいと思います。

玉井さんの感想：淀川の外來魚駆除などの活動に参加させてくださりありがとうございました。大学の実習で投網はやったことがあったのですが、地引き網はやるのも見るのも初めてだったので貴重な体験となりました。また、魚の名前などもそれぞれの魚の特徴と共に知ることが出来て良かったです。外來魚の多さに驚きました。それほど期間をあげずにこの活動をしていても、あれほどの数が網にかかっている、外來魚の繁殖力の強さを改めて感じました。本日は有り難うございました。

泉さんの感想：前回よりも、若干知識が増えた状態で参加できたので、より充実した時間を過ごすことが出来ました。ブラックバスとブルーギル、タイリクバラタナゴを見分けられるようになりました。在來魚はまだまだ分からないので、在來魚の仕分けも手伝えるようになりたいと思います。また、スクミリングカイの卵を生で初めて見たので良かったです。ありがとうございました。また参加したいです。

中畠さんの感想：川の生物の保護活動をするのは初めてだったので、とても良い経験になりました。特に地引き網を使って生物を保護するのは少人数ですることとはとても難しいことなので、たった一種の生物の保護のためだけにこれ程の人の協力が必要なのかと痛感しました。また、外來種の駆除については、強い繁殖力故に、時間と労力をかけて少しでも多く駆除できるようにしておかないといけないと思いました。

岡本より：太陽の日が射すと暑いと感じる中、トラブル無く活動でき、終了できました。この日は他団体の参加者の方々も多かったのですが、参加者の皆さんには、淀川の歴史やワンドの成り立ち、魚の特徴や生態、イタセンネット設立の経緯などをご説明しました。今回も吉川さんには最後に、捕れた魚の説明をして貰いました。終了後、玉井さんと中畠さんには菅原城北大橋上からワンドを見下ろし、今活動していた場所の説明や、ワンドの成り立ちを説明しました。皆さん、積極的で熱心で感心です。

報告：岡本 晋弥